

未来構想ゼミナール 振り返りシート

自己評価は ○(できた：2点)，△(不十分：1点)，×(できなかった：0点)の3段階で行う。
※ 評価できない項目については「/」を記入する。

	項目	理想とする姿	評価項目（自己評価）	中間（月 日）			最終（月 日）		
				番号	自己評価	小計	自己評価	小計	変化
知識・技能	1. 課題発見力	<p>テーマの有用性・独自性</p> <p>先行研究も踏まえて、有用性や独自性の認められた課題を設定することができる。</p> <p>検証可能な仮説の設定</p> <p>探究すべき範囲を適切かつ明確に定め、検証可能な仮説を設定することができる。</p> <p>課題の修正力</p> <p>調査研究を進める中で、他者の考えを取り入れながら、課題や仮説を適切に修正することができる。</p>	<p><input type="checkbox"/>解決すべき課題を発見することができた。</p> <p>①社会的または学術的な課題と関連している。</p> <p>②有用性・独自性が認められる。</p> <p>③課題に関する先行研究について調べた。</p> <p>④探究すべき範囲・解決すべき問題が明確である。</p> <p><input type="checkbox"/>仮説を立てた。</p> <p>⑤仮説は検証可能である。</p> <p>⑥仮説の妥当性について相談・検証した。</p> <p><input type="checkbox"/>一度設定した課題や仮説を見直した。</p> <p>⑦調査研究等の結果を踏まえて見直した。</p> <p>⑧指導助言を踏まえて見直した。</p> <p>⑨仮説について別の検証方法を試みた。</p>	①					
知識・技能	2. 分析力	<p>情報の収集・整理</p> <p>課題に関する情報を十分に収集し、それを適切に分類し、整理することができる。</p> <p>データ処理</p> <p>調査等のデータを理論的かつ数学的に分析することができる。</p> <p>文献探索</p> <p>文献等の資料を十分に収集し、その内容を要約し、課題を分析することができる。</p>	<p><input type="checkbox"/>課題に関する情報収集及び整理を行った。</p> <p>①信頼性の高い情報を得ることを心掛けた。</p> <p>②事実と意見を区別する等、情報の性質の違いがわかる。</p> <p>③収集した情報を項目毎に整理した。</p> <p><input type="checkbox"/>データに基づく分析を行った。</p> <p>④分析に耐えうる量のデータを収集した。</p> <p>⑤得られたデータを理論的かつ数学的に分析した。</p> <p><input type="checkbox"/>複数の資料に基づく分析を行った。</p> <p>⑥必要な資料を十分に収集した。</p> <p>⑦資料の内容を要約し、理解することができた。</p> <p>⑧インターネット上の情報だけでなく、文献に基づく分析を行った。</p>	①					
知識・技能	3. 計画性	<p>手順の確立</p> <p>課題を解決するための手順を明確にして取り組むことができる。</p> <p>実行可能性の検討</p> <p>限られた期間内で実行可能な計画を立てることができる。</p> <p>計画の修正・調整能力</p> <p>状況に応じて計画を修正したり、交渉によって調整したりすることができる。</p>	<p><input type="checkbox"/>探究計画を立案した。</p> <p>①課題を解決するために行うべきこと・手順が明確である。</p> <p>②行うべきことの優先順位を考えた。</p> <p>③実行可能な計画を立てることができた。</p> <p>④周囲の助言を取り入れながら計画した。</p> <p>⑤外部との連携が円滑に行われるように交渉した。</p> <p>⑥必要となる施設設備が使用できるように交渉した。</p> <p><input type="checkbox"/>探究計画を見直した。</p> <p>⑦探究活動の進捗状況に応じて、計画を修正した。</p> <p>⑧課題設定や仮説の見直しに応じて、新たな計画を立案した。</p>	①					
思考力・判断力・表現力	4. 思考力	<p>洞察力</p> <p>課題の本質（キーワード）を見抜き、端的な表現で言い表すことができる。</p> <p>関連性の把握</p> <p>抽出・整理した情報について、それらの関係性（共通点や相違点、因果関係など）や傾向を見いだすことができる。</p> <p>解決策の構想</p> <p>課題に対する適切な解決策を、具体的かつ詳細に構想することができる。</p>	<p><input type="checkbox"/>探究活動の要点を理解した。</p> <p>①探究活動の目的が明確である。</p> <p>②探究活動のゴールが明確である。</p> <p>③課題の本質を一言（端的な表現）で言い表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/>複数の情報の関連性を見いだした。</p> <p>④共通点や相違点、因果関係などが明確な資料・データを見つけた。</p> <p>⑤複数の資料・データから導き出される傾向を明らかにした。</p> <p><input type="checkbox"/>解決策を構想した。</p> <p>⑥解決策は具体的かつ詳細である。</p> <p>⑦解決策の実現可能性が高い。</p> <p>⑧解決策による効果・影響は大きいと予想される。</p>	①					
思考力・判断力・表現力	5. 判断力	<p>発想力</p> <p>課題へのアプローチに独自性があり、これまでにない発想を具現化することができる。</p> <p>検証力</p> <p>探究活動を振り返り、新たな課題を発見し、次の展望を模索することができる。</p> <p>先見性</p> <p>今後の社会情勢の変化予測を踏まえながら、探究活動の成果を活用する方法を見いだすことができる。</p>	<p><input type="checkbox"/>研究に独自の視点・発想を盛り込んだ。</p> <p>①課題設定や仮説に独自性がある。</p> <p>②これまでにない発想で解決策を構想した。</p> <p>③新たな発想によって社会のあり方を変容させた。</p> <p><input type="checkbox"/>自らの探究活動を検証した。</p> <p>④探究活動を振り返り、反省点をまとめた。</p> <p>⑤反省をもとに、改善策を考えた。</p> <p>⑥探究活動を振り返り、新たな課題を発見した。</p> <p>⑦今後の展望について、見通しが立っている。</p> <p><input type="checkbox"/>探究活動の成果を活用する方法を示した。</p> <p>⑧活用方法は現実社会の課題解決に繋がっている。</p> <p>⑨今後の社会情勢の変化予測に対応している。</p>	①					

	項目	理想とする姿	評価項目（自己評価）	中間（月 日）			最終（月 日）		
				番号	自己評価	小計	自己評価	小計	変化
思考力・判断力・表現力	6. 表現力Ⅰ	<p>資料による発表（課題意識）</p> <p>問題意識を明確に提示することができる。</p> <p>資料による発表（調査方法等の経過）</p> <p>解決方法や調査研究の経過をわかりやすく提示することができる。</p> <p>資料による発表（今後の課題）</p> <p>探究した結果及び今後の課題をわかりやすく提示することができる。</p>	<p><input type="checkbox"/>探究活動の成果をポスターや論文等にまとめた。</p> <p><内容></p> <p>①問題意識を提示した。</p> <p>②解決方法や調査研究の経過を提示した。</p> <p>③探究活動の結論を提示した。</p> <p><表現></p> <p>④正確かつ読みやすい日本語で表現した。</p> <p>⑤図や表を活用して、適切にイメージできるよう工夫した。</p> <p>⑥データをグラフや表に加工して、わかりやすく提示した。</p> <p>⑦英語等、異なる言語でも原稿等を執筆した。</p>	①					
思考力・判断力・表現力	7. 表現力Ⅱ	<p>パフォーマンスによる発表（準備）</p> <p>探究した内容を効果的に伝えるための準備を綿密かつ着実に行うことができる。</p> <p>パフォーマンスによる発表（発表）</p> <p>課題について理解を深めさせる効果的な発表を行うことができる。</p> <p>パフォーマンスによる発表（質疑）</p> <p>相手の質問の意図を十分に理解した上で、適切な回答をすることができる。</p>	<p><input type="checkbox"/>探究活動の成果をプレゼンテーションや作品展示・パフォーマンス等によって発表した。</p> <p>①プレゼンテーション資料や舞台装置など、より効果的に伝えるための準備を入念に行った。</p> <p>②聴衆に対して適切な態度・言葉遣い・声量等で発表を行った。</p> <p>③発表を行うことで、多くの聴衆の理解を得た。</p> <p><input type="checkbox"/>発表後の質疑応答を行った。</p> <p>④質問の意図を理解することができた。</p> <p>⑤質問に対して的確な回答を行うことができた。</p>	①					
主体的に学びに向かう力	8. 積極性	<p>主体性</p> <p>探究活動により培われる力を自覚して、自ら行動することができる。</p> <p>探究活動への意欲</p> <p>課題意識を更新し続けることができる。</p> <p>実行力</p> <p>計画を遂行していくことができる。</p>	<p><input type="checkbox"/>主体的に探究活動に取り組んだ。</p> <p>①探究活動により培われる力を理解している。</p> <p>②授業時間以外にも探究活動に取り組んだ。</p> <p>③新たな課題を発見するなど、課題意識を更新し続けている。</p> <p>④計画通りに探究活動を行うことができた。</p> <p>⑤日常生活の中で、課題に関する情報に自然と意識が向かうようになった。</p> <p>⑥外部の機関・施設を訪れるなど、校外での研修を行った。</p> <p>⑦専門家に質問するなど、見識を高めようと努力した。</p>	①					
主体的に学びに向かう力	9. 協同性	<p>協調性</p> <p>他者と協力して探究活動に取り組み、互いに高め合うことができる。</p> <p>柔軟性</p> <p>他者の意見等を取り入れて柔軟に思考を再構築できる。</p> <p>奉仕の精神</p> <p>他者の探究活動に有効な意見を積極的に提供することができる。</p>	<p><input type="checkbox"/>他者と協力しながら探究活動に取り組んだ。</p> <p>①ゼミナール内での役割を十分に果たした。</p> <p>②話し合いの際に建設的な意見を述べることができた。</p> <p>③発表を聞いて、それに対する疑問や質問、意見を積極的に伝えた。</p> <p>④相手に意見を述べる際に、言葉遣いや態度に気を配った。</p> <p>⑤相手の良い点や個性を積極的に認めようとした。</p> <p>⑥他者の意見を否定せず、柔軟に取り入れた。</p>	①					

○ゼミナールの探究活動を通して向上したと思う資質・能力は？(どんなことができるようになったか?)

○今後の探究活動を通して向上させたいと思う資質・能力は？(どんなことができるようになりたいか?)

【中間評価に関する指導助言】

【最終評価に関する指導助言】

番号〔 〕 氏名〔 〕